

まちづくり基本計画

計画期間（前期）

令和 5 年度 ▶▶▶ 令和 9 年度
(2023) (2027)

1. ありたいまちの実現に向けたまちづくり基本計画

まちづくり基本計画は、**わたしたち**の想いが詰まった「ありたいまち」の実現に向けて、まちづくり構想に示す「まちづくりの進め方」や「まちづくりの**基本的視点**」を踏まえ、施策や**行政**運営などの今後のまちづくりの取組方針を示す本市の最上位の行政計画です。

2. 分野ごとの力を最大化し、その連携を意識したまちづくり

本市ではまちづくりの指針となる総合計画にもとづくまちづくりを進めていますが、その推進に当たっては内部評価と外部評価を組み合わせた市独自の PDCA サイクルにより、**たゆみなく改善を実施し**、また、その年度ごとの改善経過をわかりやすくまちづくりにかかわる主体と共有する取組を進めています（P74「計画の推進」参照）。

また、総合計画は分野別計画の基礎となり、それらを横断的に束ねています。そのため、施策間・計画間の連携の強化、促進に向けては、総合計画と分野別計画の整合を図ることが重要であり、分野別**マスタープラン**を所掌する審議会等が市の取組の方向性や各分野の隣接領域の状況を共有できるよう、市と審議会等の代表者による「施策間連携サミット」を実施するなどにより、連携の取組を進めています。

そのほか、連携強化の視点では、市内だけでなく外郭団体を加えての施策評価における連携確認、「**尼崎版 SDGs**」の発行など SDGs を視点とした連携意識の醸成に加え、隣接する4つの中核市（西宮市、尼崎市、豊中市、吹田市）による都市間ネットワークの形成に向けた「NATS」をはじめとする都市間連携の取組など、さまざまな視点において連携促進の取組を進めて**います**。

まちの課題が複雑化・多様化するなか、「ありたいまち」の実現に向けては、組織や分野ごとの専門性を高めながらも「つながり」や「広がり」を意識し、また、状況に応じた調整・修正を行いながら、柔軟にまちづくりを進めることが重要であることから、引き続き、「振り返り」と「連携」を意識した取組を推進していきます。

《施策間連携の取組イメージ》

【連携の取組】

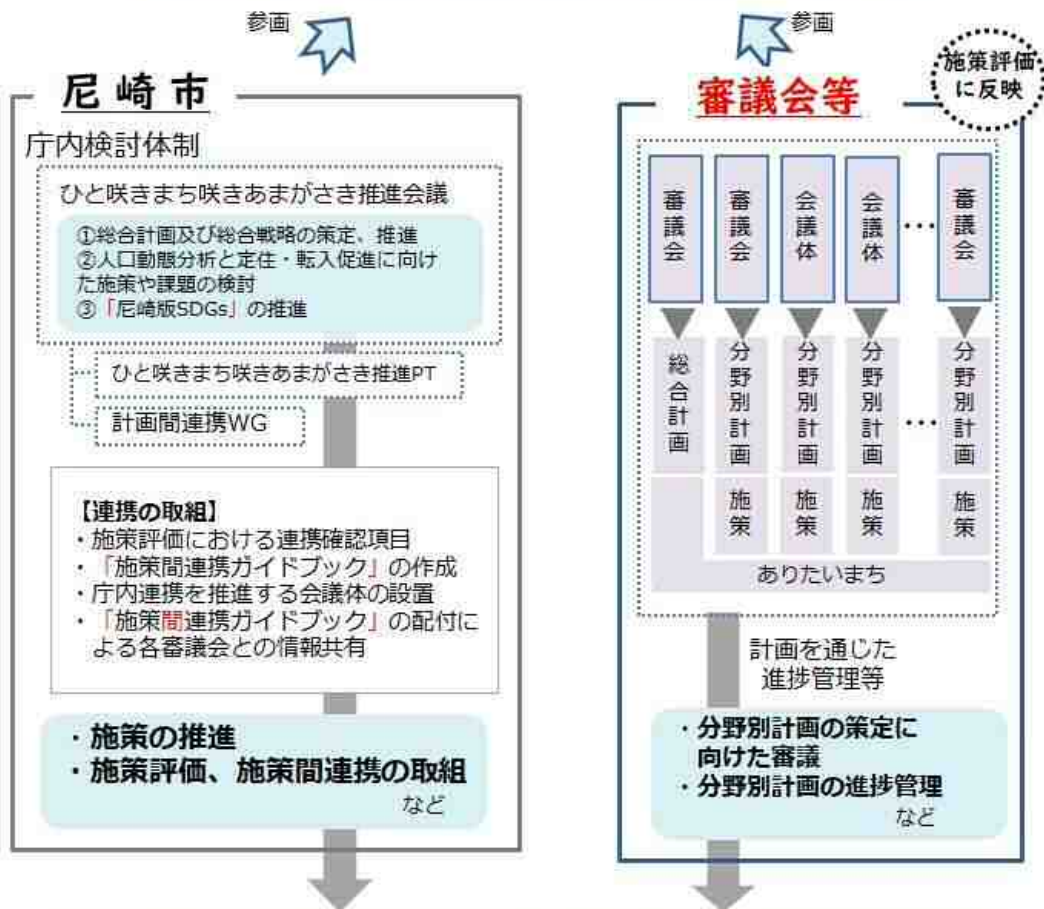
市と審議会、審議会間の総合的かつ横断的な
情報共有・意見交換の場として、

施策間連携の推進に向けた
審議会等代表者による懇談会

「施策間連携サミット」を開催。

(内容)

- ・市のめざす方向性の共有
- ・市のまちづくりにおける各施策の役割、機能、位置付け等の把握
- ・各施策でさらに連携が必要となる施策の把握及び連携強化手法の検討



尼崎市総合計画を羅針盤としたまちづくり

- ・本市のめざすまちの姿「ありたいまち」と「まちづくりの進め方」
- ・「ありたいまち」の実現に向け、分野ごとの取組の方向性である「施策」を推進

まちづくりのPDCAサイクル



3. まちづくりの総合指標

「ありたいまち」の実現に向けてまちづくりを進めるに当たっては、その目標や方向性を明確にするとともに、それらをまちづくりにかかわる主体と共有し、絶えず**取組の**振り返り**を行い**ながら進めていくことが重要です。本計画では、主要取組項目や施策ごとに指標を設定し、その進捗を測るとともに、まちづくり基本計画全体の進捗を総合的に測る「まちづくりの総合指標」を次の3つの視点で設定しました。

【視点④】居住地としての**まち**の評価を測る“市民の実感”の視点

指標

「**尼崎市に住んで良かった**」
と**感じている市民の割合**

基準値（令和3年度）

91.3%

目標値（令和9年度）

93.9%

【考え方】

「**尼崎市に住んで良かった**」と感じている市民の割合を高めるため、令和3年度（2021年度）の市民意識調査において、「どちらかといえば良くなかった」と回答した市民の半数が「良かった」となった場合の数値をめざします。

ま

【視点①】将来にわたり持続的なまちの活力を測る“人口”の視点

指標

ファミリー世帯の転出超過数

基準値（令和3年度）

378世帯

（令和3年実績）

目標値（令和9年度）

189世帯

【考え方】

まちづくり構想期間（～令和14年（2032年））に転出超過の解消をめざし、令和9年度の目標値を令和3年（2021年）実績の半減とします。



ちづくりの
総合指標

【視点②】活動の場の創出など、まちの魅力を測る“まちへの愛着”の視点

指標

市民参画指数

基準値（令和3年度）

40.4

（令和3年度実績）

目標値（令和9年度）

52.5

【考え方】

令和3年度（2021年度）の市民意識調査における、「地域推奨」、「地域活動」、「地域活動感謝」のそれぞれの意欲が「低い」から「普通」となった場合の数値をめざします。



4. 施策体系

まちづくりにおけるさまざまな分野ごとの計画期間中における取組の方向性として、13の施策と41の展開方向を設定しています。

《ありたいまちと施策体系》

ありたいまち

「ひと咲き まち咲き あまがさき」

「みなぎる。つながる。
わたしたちのチカラ」

「ほっとかない。
だれも、なにも」

「きり拓く。ひと、しごと」

「たかまる。
便利でご機嫌な暮らし」

「ひろげる。
一步先の選択肢」

(シチズンシップ・シビックプライド)

(社会的包摂・多様性)

(産業・活力)

(利便性・都市機能)

(持続可能性)



実現に向けた手段

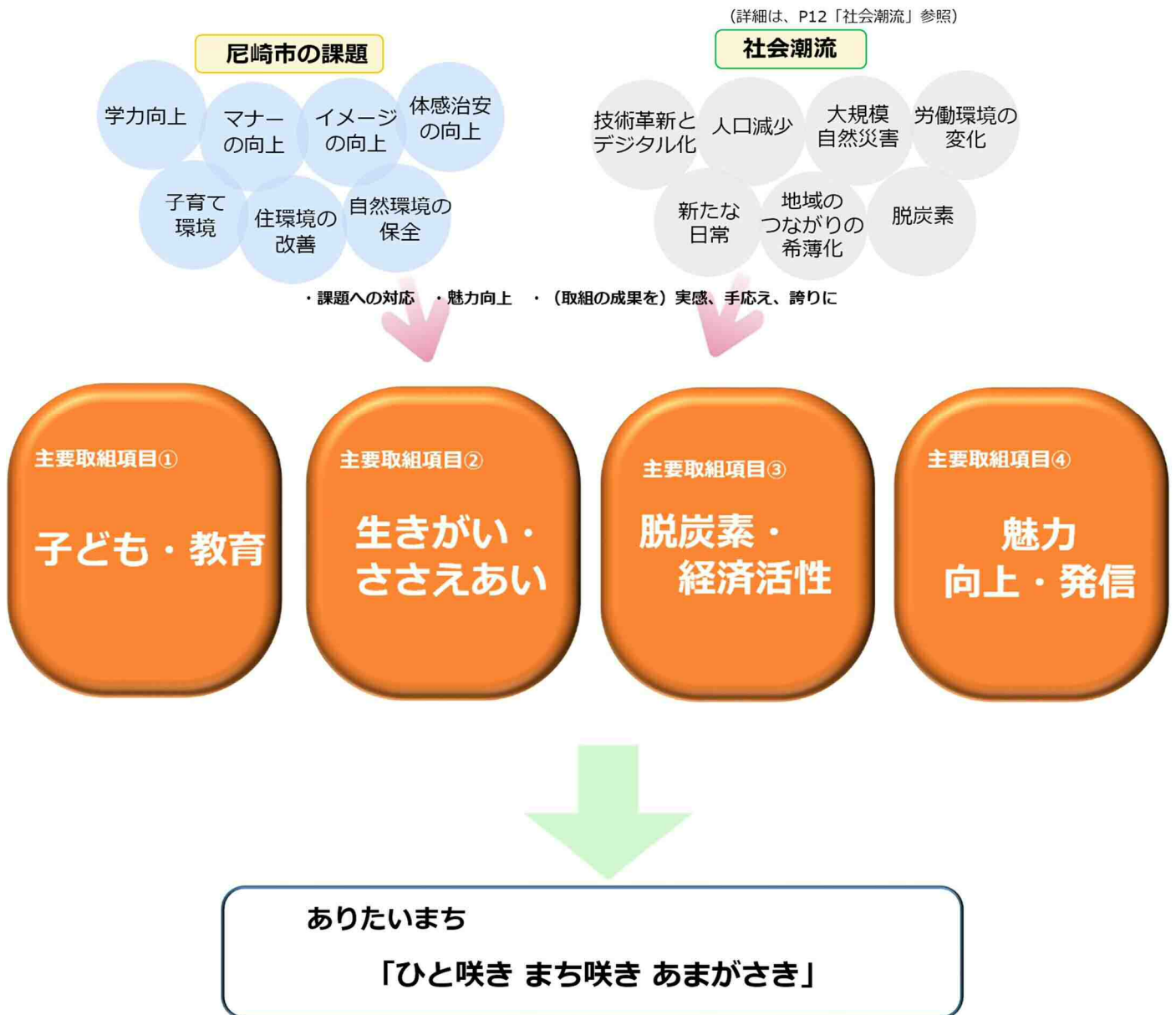
施 策	展 開 方 向
施策1 地域コミュニティ・学び	(1) 生涯学習の推進・地域コミュニティの醸成 (2) まちの魅力を高める文化芸術活動の推進 (3) 歴史遺産の継承と学びの充実 (4) スポーツに親しむ機会の充実
施策2 人権尊重・多文化共生	(1) 地域における人権尊重の取組の推進 (2) 人権に関する相談体制と支援の充実 (3) 学校園等における人権教育の推進 (4) 市職員・教職員等への人権教育の推進
施策3 学校教育	(1) 確かな学力の保証と健やかな体づくり (2) 個に寄り添った教育の推進 (3) 他者とつながる学校園づくり (4) 良好な教育環境の確保
施策4 子ども・子育て支援	(1) 安全に安心して産み育てることができる環境づくり (2) 子育てと仕事の調和の実現に向けた環境づくり (3) すべての子どもが健やかに育つ環境づくり (4) 子どもたちの生きる力をはぐくむ環境づくり
施策5 地域福祉	(1) 「ささえあい」をはぐくむ人づくり・多様な主体の参画と協働による地域づくり (2) 誰もが安心して暮らすを支える基盤づくり
施策6 障害者支援	(1) 必要な支援を受け、身近な地域で暮らすことができる環境づくり (2) 生きがいをもって自分らしく暮らすことができる環境づくり (3) ともに支えあい、安心して暮らすことができる環境づくり
施策7 高齢者支援	(1) 介護予防の取組や認知症施策の推進 (2) 高齢者の社会参加の促進や介護サービスの基盤づくり
施策8 健康支援	(1) 生活習慣病予防対策（ライフステージに応じた健康づくりへの支援） (2) 地域や団体等と取り組む健康づくり（ライフステージに応じた健康づくりへの支援） (3) 健康で安全・安心な暮らしを確保するための体制の充実
施策9 生活安全	(1) 防犯、交通安全、消費生活での安心感の醸成 (2) 自転車のまちづくりの推進 (3) ルール遵守やマナー向上
施策10 消防・防災	(1) 消防・救急力の充実 (2) 地域防災力の向上
施策11 地域経済・雇用就労	(1) イノベーションの促進に向けた環境づくり (2) 地域経済の活性化や循環の促進 (3) 雇用就労の充実 (4) 観光振興による地域経済の活性化と魅力向上
施策12 環境保全・創造	(1) 脱炭素社会の形成 (2) 循環型社会の形成 (3) 環境の保全
施策13 都市機能・住環境	(1) エリアブランディングの推進 (2) 豊かな住生活の実現 (3) 良好な都市環境の整備

5. 主要取組項目

「ありたいまち」の実現に向けて、計画期間中に重点的、分野横断的に取り組んでいく項目を、主要取組項目として4つの項目にまとめました。

これらの項目は、これまで実施してきた施策評価における成果と課題の蓄積や、今後の社会潮流を踏まえるなかで抽出した項目であり、これらを推進することでまちの課題への対応とともに、さらなる魅力の向上に取り組み、まちの変化を市民・事業者等の実感と手応え、誇りにつなげていきます。

また、この4つの視点については、総合計画のアクションプランである尼崎版総合戦略の政策分野と整合を図り、一体的な推進を図ります。



主要取組項目① 子ども・教育



◆子ども・子育て支援の充実

待機児童対策を強力に推進するとともに、ファミリー世帯のニーズに応じた支援策の充実を図るなど、子どもを持つ人や子どもを持ちたいと思うすべての人が安心して産み育てられる環境づくりに取り組めます。

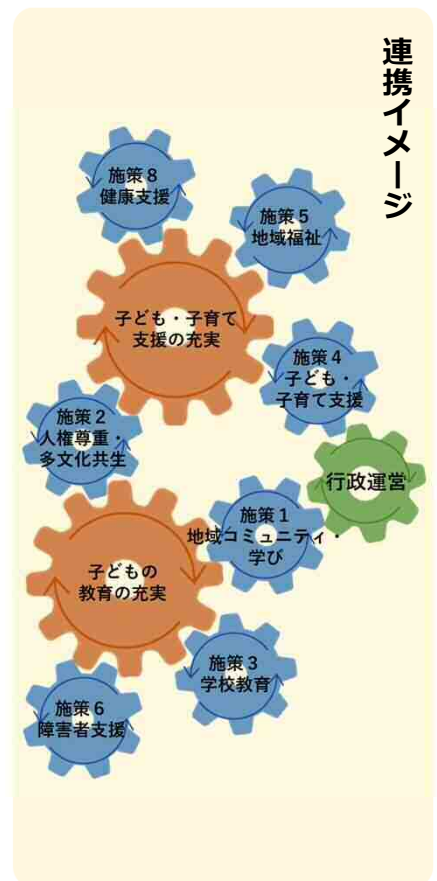
また、貧困の連鎖の解消に向け、困難を抱える子ども・若者に対する支援を継続するとともに、子ども家庭総合支援拠点である「いくしあ」と一体となった尼崎らしい児童相談所の設置に向けた準備を進めるなど、子どもファーストを基本としつつ、ファミリー世帯を包括的に支援します。

◆子どもの教育の充実

個々の伸びやつまずきに寄り添った学習支援や科学的根拠にもとづく先進研究による学力向上の取組を継続するとともに、すべての子どもがこれからの時代を生き抜いていけるよう、幼保小連携の推進など就学前教育の研究・実践の取組、インクルーシブ教育の推進に取り組めます。

地域とともにある学校づくりをめざし、コミュニティ・スクールの全市展開を進めつつ、ユースカウンシルの実践などにより、若者の主体的な活動を支援します。

また、いじめ等の未然防止、早期発見、早期解消に向けた取組や体罰根絶に向けた取組を徹底します。



〈指標〉

◆「子育てをしやすいまち」だと感じている市民の割合
(市民意識調査)

基準値(令和3年度)

56.9 %

目標値(令和9年度)

70.0 %

◆全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国との比較

基準値(令和3年度)

小6 0~△2Pt
中3 △2~△4Pt

目標値(令和9年度)

全国平均以上

主要取組項目②

生きがい・ささえあい



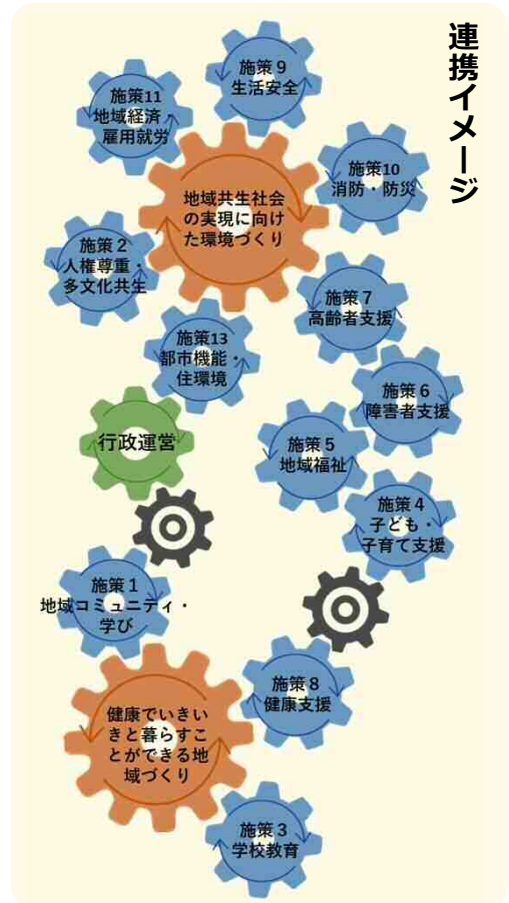
◆地域共生社会の実現に向けた環境づくり

地域で世代や分野を超えてつながり、安全・安心を実感し、支えあえる社会の実現に向け、**複雑化・複合化**した課題を抱える人への重層的支援の推進や、国籍、年齢、性別、障害の有無などにかかわらず、誰もが尊重され、活躍できる環境づくりに取り組みます。また、**引き続き戦略的な防犯対策**を実施するとともに、近年、頻発している大規模な自然災害などに備え、市の防災対策の強化や地域防災力の向上に取り組みます。

◆健康でいきいきと暮らすことができる地域づくり

平均寿命が延伸するなか、生涯を通して健康でいきいきと暮らすことができるよう、自身の健康に対する意識を高めるとともに、それを気軽に行動に移せる環境づくりが重要です。

市民の健康寿命の延伸に向け、より若い世代から望ましい生活習慣を獲得できるように、「ヘルスアップ尼崎戦略」によるライフステージに応じた健康づくりへの支援の充実を図ります。



〈指標〉

◆「安全で安心して暮らせるまち」と感じている市民の割合
(市民意識調査)

基準値(令和3年度)

61.9%

目標値(令和9年度)

76.4%

◆健康寿命の延伸

※指標の数値は健康寿命と平均寿命の差

基準値(令和3年度)

男性 △1.57歳
女性 △3.59歳

目標値(令和9年度)

平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加

(令和元年度実績)

主要取組項目③

脱炭素・経済活性



◆脱炭素社会の実現に向けた取組の推進

再生可能エネルギーの普及やエネルギーの地産地消、省エネ型建築物・エコカーの普及、食品ロス・プラスチックごみの削減などに取り組み、市民・事業者等と地球温暖化の危機を正しく認識・共有し、連携しながら令和32年（2050年）までに二酸化炭素排出量を実質的にゼロにする脱炭素社会の実現に向けて行動していきます。

◆地域経済の活性化

経済成長と二酸化炭素排出量抑制の両立に向け、引き続き産学公融ネットワークを生かし、脱炭素、SDGsなど成長分野への事業展開の支援等を通じたイノベーションの創出による地域経済の活性化に取り組みます。

そのほか、社会的課題解決型ビジネスなど時代の変化に即した創業支援や、SDGsの見える化と地域経済の活性化を目的とした電子地域通貨「あま咲きコイン」の活用促進などに取り組みます。



連携イメージ

〈指標〉

◆市域における二酸化炭素排出量

基準値(令和3年度)

2,471kt-CO₂

(令和元年度速報値)

目標値(令和9年度)

2,049kt-CO₂

◆市内総生産（実質GRP）

基準値(令和3年度)

19,826 億円

(令和元年度実績)

目標値(令和9年度)

GDP成長率(実質)を上回る増



主要取組項目④ 魅力向上・発信

◆ 学びの推進によるシチズンシップの向上

シチズンシップの向上に向け、「あまがさき・ひと咲きプラザ」や「生涯学習プラザ」をはじめ、まち全体での学びのさらなる充実に取り組み、**学びの広がりやつながりを通して**、市民力が発揮され、地域発意の取組が広がるよう支援します。

◆ エリアブランディングの推進

鉄道駅周辺を中心としたエリアごとに、市民・事業者等と連携して公園や駅前広場などを活用した交流・滞在空間を創出するとともに、土地利用の誘導や住環境の向上など地域特性に応じたまちづくりを進め、情報発信もあわせることでエリアごとのブランディングを推進します。

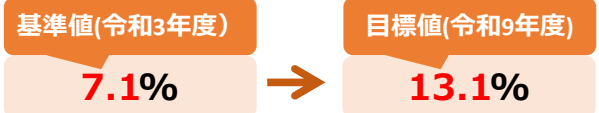
◆ イメージの向上によるシビックプライドの醸成

誰もが気持ち**良く**暮らすことができるまちの実現に向けて、自転車の運転、ごみの分別、ポイ捨て、喫煙など、ルール、マナーに対する理解と意識の向上に向けた取組を推進します。あわせて、まちの実態とイメージのギャップを解消し、尼崎への誇りと愛着を高めるため、魅力創造と発信を一体的に取り組むシティプロモーションを推進します。



〈指標〉

◆ 「生涯学習活動が地域活動につながった」と感じている市民の割合
(市民意識調査)



◆ 「まちのイメージが良くなった」と感じている市民の割合
(市民意識調査)

